

研究課題 (テーマ)	<p style="text-align: center;"><b>2020 年度以降の大学入試改革に備えた</b></p> <p style="text-align: center;"><b>英語 4 技能試験に関する実証的研究</b></p> <p style="text-align: center;">— 効果的な英語教育及びグローバル人材育成プログラム</p> <p style="text-align: center;">の開発も視野に入れて —</p>		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育センター	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>本研究においては、自ら参加を希望して被験者となることに同意した方々を対象として、以下の各種試験等を実施した：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 発音テスト</li><li>・ 英語 4 技能試験</li><li>・ 英語実力試験</li><li>・ その他</li></ul> <p>また、別の英語実力試験（2 回分）の結果も分析の対象とした。</p> <p>調査結果を分析すると、大局的に、ある興味深いことが発見された。実際、何かパターンのようなものがあるとわかった。例えば、ひとつのグループでは、ある技能が卓立しており、そうした能力がおそらくその被験者の「英語力」を支えていると思われる。いずれにしても、本学における入学試験だけでなく、英語教育全体を考えると、「4 技能」ということが大きな鍵となるかもしれない。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、今回の分析結果を本学英語教育において活用するとともに、さらに規模を大きくして、本実験を継続して行うことが大いに期待される。</p>			